2015.8.26　8月例会用資料

ASK歩く会
麻生区近郊散策
泉の森・ふれあいの森

世話人(金作・原田・大出・稲田)

開催日　　２０１５年８月２１日(金)　曇り

出発　　小田急線　新百合ヶ丘駅

　　午前　　9時

解散　　午後　　4時（懇親会　つづらお）

参加者　　12名

コース

新百合ヶ丘駅 ⇒ 大和駅 ⇒ ふれあいの森

（親水広場⇒引地川⇒台湾亭） ⇒ 和泉の森

(しらかしの池⇒自然観察センター･しらかしの家(昼食)⇒

大和市郷土民家園 ⇒引地川源流⇒上草柳第2遺跡 ⇒

泉の森園名石）⇒ 旧大山街道 ⇒ 鶴間駅 ⇒

新百合ヶ丘駅

大和駅前出発

お弁当購入終了

さあ、出発です

もう休憩ですか？
信号待ちで、一寸一杯
スタートから400m

ふれあいの森

水とみどりと花がふれあうコミュニティーの核となる、およそ9ヘクタールの森です

親水広場

その名の通り水と親しんでもらえるような池や小川、滝などがあり、「深さの変わる池」「三分一」の仕掛けがある。

引地川

引地川は、泉の森(水源)から南下し、藤沢市鵠沼海岸の湘南海岸公園より相模湾に注ぐ。全長21.3km、流域面積67km²。

台湾亭

先の大戦中、台湾少年工8,400名が高座海軍工廠で戦闘機「雷電」の製作に従事した。
工廠は現在の座間市栗原にあり、寄宿舎は大和市上草柳にあった。
1993年6月9日、台湾少年工の同窓組織である台湾高座会から、日台の友好親善と世界平和を祈念し、第2の故郷と呼ぶ大和市へ寄贈されたもの。

泉の森

泉の森はかつて、引地川に沿って稲作が行われている土地であったが、流域の都市化が急速に進み、水害が発生するようになった。
そこで昭和57年に、貯水池の機能をもたせた上草柳調整池が作られた。
そして、治水機能はそのままに、多くの市民が生きた自然の姿をさまざまに学べる場、自然への親しみをとりもどす場として泉の森が整備された。

しらかしの池

泉の森の湿生植物園としらかしの池は、調整池としての機能を果たしています。
調整池とは台風などの集中豪雨の際に、川の氾濫を防ぐために一時的に雨水を貯水するための池です。
多くのカメラ愛好家が、カワセミの写真を撮影していました。

頂いたカワセミの写真

獲物を取った写真専門のカメラ愛好家より

自然観察センター・しらかしのいえ

自然をメインテーマとし、泉の森を中心に大和の自然を守り育てて行くための、様々な活動の拠点となる施設。

昼食風景

センターの土間を借りて、持参の弁当を食べました。

大和市郷土民家園

江戸時代から近年まで残されていた大和市域を代表する民家が移築復元されている。写真は、江戸中期の旧小川家。

引地川源流

大池と小池と呼ばれる2つの池があり、池の底から水が湧き出ている。
水源地の周囲の樹林は水源涵養林として保護されている。

草花を楽しむ

ｷﾂﾈﾉｶﾐｿﾘ

ｷﾂﾘﾌﾈｿｳ

ﾔﾌﾞﾐｮｳｶﾞ

上草柳第2地点遺跡

昭和54・55年に246バイパス建設に伴う事前発掘調査を実施。
旧石器時代の石器と遺構が出土した。

泉の森園名石

泉の森の北の入り口には「泉の森」と刻まれた大きな園名石がある。

ご静聴有難うございました

尚、９月２９日(火)に、宮ケ瀬ダムハイキングを予定していますので、宜しくお願い致します。